

## 新会員歓迎懇談会

2018年度 第2回新会員歓迎懇談会を3月16日(土)に「和食がんこ 寝屋川店」にて、新会員10名、支部役員8名の総勢18名で開催いたしました。



〔懇談会の様子〕

冒頭、北口支部長から開会挨拶と支部活動の概要説明  
〔北口支部長〕  
を、支部役員から定例行事、同好会活動を紹介。暫し懇談の後、新会員の皆さまから自己紹介と共に現役時の仕事の内容や退



職後の仕事等近況、趣味などお話をさせていただきました。皆さまのアンケートの結果からは、「支部の活動内容が分かり良かった」「同世代を会社で過ごした市内の会員と知り合いになれて良かった」など、回答をいただき交流の輪が広がる有意義な懇談会となりました。退職後も仕事をされておられる方が多くおられます。新会員の皆さまの益々のご活躍をお祈りすると共に、ご都合がつく限り、支部活動への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。今回は、9月21日(土)に開催予定です。



## 手書き文字ばんざい

4班 中川 兼三 (中川 溪泉) さん

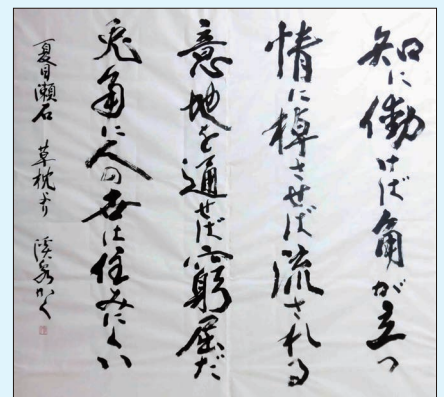
標記の“手書き文字ばんざい”は、私の所属する日本最大規模を誇る、書道団体である日本書芸院の年一回、十月に大阪中央区のOMMビルで開かれる催し物のキャッチフレーズである。現在は携帯電話やスマートフォンが普及し電話だけでなく電子メール、さらにはLINE(ライン)などの連絡も主流になっている。時代の趨勢と言ってしまうまでもそれまでである。けれども我々筆を持って文字を書き、筆文字を指導している者にとって、先行き少々不安を感じる。確かにそれらのツールは早くて便利である。それは否めない事実である。しかし、パソコンを使って文字を打つ、あるいは、スマホで文字をなぞるといったようなことではなく、手で文字



〔中川兼三さん〕

を、それも筆を使って書くことの楽しさ、面白さ大切さ、を沢山の方に知っていただきたい。文字をきれいに書くことを日々の勉強につなげていただければと思います。

私は小学校二年生の時、担任の先生の勧めもあり、展



〔夏目漱石 草枕より(140×135cm)〕

覧会に出品し、入選を機にその先生に指導していただくことになったのが始まりです。爾来、生技本部の書道部入会、師匠へ入門、日本書芸院入会、一科会員昇格、書道教室開設、等々、現在に至っています。五十年以上の書道人生を振り返り、途中で挫折することなく続けて来られたことに幸せを感じる次第です。



〔書道教室での稽古風景〕

(題字は、ご本人自書)

## 同好会のご紹介

### ■ 寝屋川球友会 (ゴルフ)

寝屋川球友会は2006年発足以来、4月で50回を迎えます。年3回(4、7、10月)のコンペに毎回、約20名の会員が参加し、“楽しく地域OB交流と健康維持”を目的に懇親を深めています。今年、大幅にゴルフルールが改正されました。この機に同好会活動の活発化に向け50回記念大会の開催と、新しい仲間を大募集します。(ゴルフ好き、ゴルフ初心者大歓迎)世話役(宮田)まで、ご連絡をお待ちしております。



### ■ ボウリング同好会

今年4月で発足5年目を迎えるボウリング同好会、当時は200アップ出来る会員さんは僅か2名余り、皆さん日頃の練習のお陰でしょうか、最近は200アップ出来る会員さんは10名余りと着実にレベルアップをされています。定例回は1回/月、3ゲームの練習で皆さん汗だくになりながら、お互いにレベルアップを目指して和気藹々と練習に又健康維持にと励んでおられます。久々にボール転がしてみるかと言う貴方いつでもお越し下さい。

